

ワン・ルーム ワン・アーティスト

One Room,
One Artist

2026

7月18日(土) — 9月23日(水・祝) 豊田市美術館

— 開館時間 — 午前10時—午後5時30分(入場は午後5時まで)

— 休館日 — 月曜日(7月20日、9月21日は開館)

— 観覧料 — 一般 800円(700円) 高大生 600円(500円) 中学生以下無料

※1. 観覧料は現金でのみ受付となります。2. 観覧料は税込価格です。

コレクションを中心としたテーマ展



Toyota
Municipal
Museum of Art
豊田市美術館

ワン・ルーム
ワン・アーティスト

堀尾昭子

Room 2
Horiu Akiko

梅津庸一

Room 3
Umetsu Yūichi

岡崎和郎

Room 4
Okazaki Kazuo

One Room, One Artist

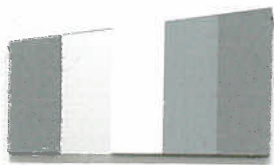
ワン・ルーム ワン・アーティスト/コレクションを中心としたテーマ展

豊田市美術館では、作家の仕事を多面的、俯瞰的に見渡せるように、ひとりの作家について複数の作品を収集することを心掛けてきました。そして、ひとつの展示室にひとりの作家の作品だけを展示して、その作家の造形思想を紹介したり人間性にも触れたりできるように「ワン・ルームワン・アーティスト」を、ひとつの目指すべきコレクションの姿としてきたのです。

本展では当館のコレクションの中から、ヤノベケンジ、堀尾昭子、梅津庸一、岡崎和郎の4名の国内作家に焦点を当て、「ワン・ルーム ワン・アーティスト」で構成するテーマ展を開催します。会場は、大きさや光の環境などが異なる4つの特徴的な展示室。当館のコレクションを中心に借用作品も交えて、展示室ごとに各作家の仕事を多角的に紹介します。独自の視座のもと新たな表現を切り拓いてきた4名の作家による4つの展示室での体験をお楽しみください。

堀尾昭子

HORIO AKIKO



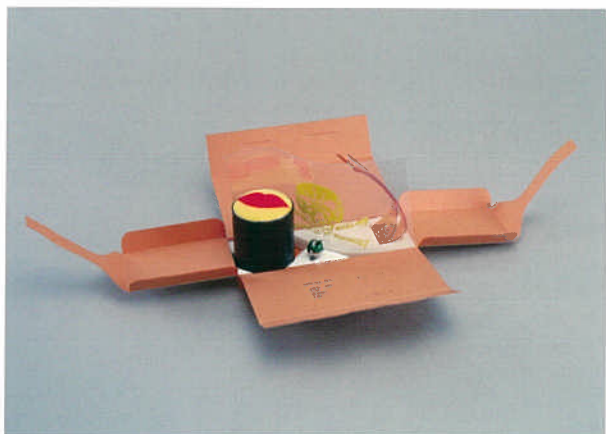
堀尾昭子《無題》2020年 ©HORIO Akiko,2026

展示室 2

1937年徳島県生まれ。1960年代より看護師として勤務するかたわら作品制作をはじめ、関西の前衛芸術集団の「具体美術協会」に合流する。身近なものを素材に、小さくも空間全体に作用するような緊張感のある作品で知られる。近年の展覧会に「堀尾昭子の現在」(西脇市岡之山美術館、2021年)、「地球がまわる音を聴く：パンデミック以降のウェルビーイング」(森美術館、2022年)、「コレクション企画 枠と波」(豊田市美術館、2023年)がある。

岡崎和郎

OKAZAKI KAZUO



岡崎和郎《Giveaway Pack 1》1968年 ©Kazuo Okazaki

展示室 4

1930年岡山県生まれ、2022年没。1960年代より晩年まで、「補遺」(=見落とされてきた見方をおぎなうもの/こと)という独自の概念のもと、身近な物をモチーフとしたオブジェを制作し続けた。美術館での主な個展に「岡崎和郎」(倉敷市立美術館、1997年)、「岡崎和郎展 補遺の庭」(神奈川県立近代美術館 鎌倉、2010年)、「見立ての手法——岡崎和郎 Who's Who」(千葉市美術館、北九州市立美術館、2016-17年)がある。

ヤノベケンジ

YANOBE Kenji



ヤノベケンジ《森の映画館》2004年 (photo:Seiji Toyonaga) ©YANOBE Kenji,2026

展示室 1

1965年大阪府生まれ。1990年代初頭より、「現代社会におけるサヴァイヴァル」をテーマに機能性を持つ大型機械彫刻を制作。ユーモラスな形態に社会的メッセージを込めた作品群は国内外で高い評価を得る。美術館での主な個展に「メガロマニア」(国立国際美術館、2003年)、「キンダガルテン」(豊田市美術館、2005年)、「Mythos」(入善町下山芸術の森 発電所美術館、2010年)、「シネマタイズ」(高松市美術館、2016年)、「太郎と猫と太陽と」(岡本太郎記念館、2024年)がある。

梅津庸一

UMETSU Yoichi



梅津庸一《集団意識》2021年 (gift of Misonikomioden) ©UMETSU Yoichi,2026

展示室 3

1982年山形県生まれ。パーフルーム主宰。美術史や美術教育、美術と産業など、美術にまつわるあらゆる領域に関心を示しながら、さまざまな表現媒体を横断しつつ美術とは何かを追究する。近年では神奈川県海老名市のダイエーに自らが主宰するギャラリーを移転・開廊した。美術館の個展に「ポリネーター」(ワタリウム美術館、2021年)、「クリスタルパレス」(国立国際美術館、2024年)がある。

関連事業

会期中、イベントを開催します。詳しくは美術館ウェブサイトをご覧ください。

同時開催

アンドリュウ・ワイエス展 7月18日(土)–9月23日(水・祝)

*ワイエス展のチケットで、本展もご覧いただけます。

次回開催

井田照一展/長谷川繁 ペイン天狗 2026年10月24日(土)–2027年1月24日(日)

関連施設情報

■ 豊田市博物館

養老孟司と小檜山賢二の虫展
7月11日(土)–9月23日(水・祝)

■ 豊田市民芸館

アーツ・アンド・クラフツと民芸
6月20日(土)–8月30日(日)

豊田市美術館

〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町8-5-1

[Tel] 0565-34-6610(代表)

[E-mail] bijutsukan@city.toyota.aichi.jp

<https://www.museum.toyota.aichi.jp>



豊田市美術館
ウェブサイト



Toyota
Municipal
Museum
of Art

豊田市美術館